



三鷹市登録有形文化財
国立天文台旧1号官舎

三鷹市星と森と絵本の家は、大正期に建設された国立天文台旧1号官舎を保存活用してつくられています。

旧1号官舎は、東京天文台(現・国立天文台)が麻布飯倉から三鷹に移転するために建設を進めていた大正4(1915)年に、建設されました。その後、90年近くにわたって官舎として使用されてきました。星と森と絵本の家として整備するにあたり、国立天文台から譲り受けた建物をいったん解体し、建築基準法に適合させ、管理棟を併設して平成21(2009)年に復元・再築しました。

旧官舎部分は、三鷹市登録有形文化財に登録されています。

「星と森と絵本の家」には、ここにしかない特徴があります。

- ★ 「星」-国立天文台の知的資源の活用や天文学者等の協力
- 🌳 「森」-天文台の森の豊かな自然の中にあるという環境
- 📖 「絵本」-子どもと絵本の活動に集う多彩な人々との協働
- 🏠 「家」-大正時代の官舎を保存活用した建物の魅力



三鷹市
星と森と絵本の家

Mitaka Picture Book House in the Astronomical Observatory Forest

〒181-0015 三鷹市大沢2-21-3 国立天文台内
TEL 0422-39-3401 FAX 0422-39-3402
https://www.city.mitaka.lg.jp/ehon/

敷地面積:約2,400㎡
建築面積:約350㎡
旧1号官舎棟179.27㎡
管理棟166.35㎡

【開館時間】午前10時～午後5時
【休館日】火曜日、年末年始(他にメンテナンス休館あり)

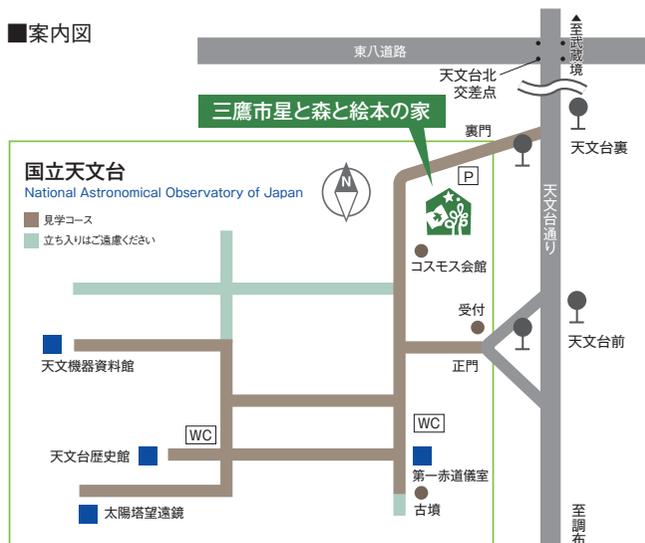
■バスをご利用の場合 『天文台裏』または『天文台前』下車

- ◇JR武蔵境駅から 所要時間約15分
小田急バス 境91「狛江駅北口」行き
- ◇JR三鷹駅から 所要時間約20分
小田急バス 鷹51「調布駅北口」行き
- ◇京王線調布駅から 所要時間約15分
小田急バス 境91「武蔵境駅南口」行き
小田急バス 鷹51「三鷹駅」行き
京王バス 武91「武蔵小金井駅」行き

■自転車をご利用の場合 自転車でお越しの方は、星と森と絵本を家の駐輪場をご利用ください。

■お車をご利用の場合 国立天文台の有料駐車場をご利用できます。

■案内図



国立天文台は
研究施設です

見学コース以外への立ち入りは禁止されていますのでご注意ください。(見学コースをご覧になりたい場合は、国立天文台正門の受付で手続きが必要です)。



Mitaka Picture Book House
in the Astronomical Observatory Forest

三鷹市
星と森と
絵本の家





絵本の持つ、子どものペースに合わせてページをめくるアナログな形式や、コミュニケーションとふれあいを深めるはたらき、科学や芸術のあらゆる分野への入り口となる多様さを大事にして活動していきます。

概要と目的

子どもの好奇心をはぐくむ

「三鷹市星と森と絵本の家」は、国立天文台の協力のもとに、三鷹市が設置・運営する展示施設です。天文台の森の中にある大正時代の建物を保存活用し、広い庭も使って、絵本の展示や絵本を楽しむ場の提供、自然や科学への関心につながる活動を行っています。絵本との出会いやさまざまな体験を通じて、子どもたちの知的好奇心や感受性をはぐくみ、人々が宇宙や自然、芸術文化に親しむ場となり、子どもたちが豊かに成長する地域文化の創造に寄与することを目的としています。

特徴と協働

人がつながり創るところ

「星と森と絵本の家」は、三鷹市が進めている「みたか・子どもと絵本プロジェクト」の特色ある拠点です。「星」や「森」や「絵本」や「家」への関心をきっかけに多様な人々が集まり、おおぜいの市民との協働により運営されています。「星と森と絵本の家」は、人と人がつながり、「子どもたちが生き生きと豊かに成長していくように」という共通の願いのもとに、みんなでそのあり方を創造していく場所です。赤ちゃんから高齢者まで、ここに集う人々によって育てられていきます。

考え方と方法

大切にしたいこと

ここでは、絵本をゆっくり楽しみ、サイエンスやアートにつながるさまざまな体験をすることができます。しかし、イベントやプログラムを賑やかに提供するよりも、日常の中で子どもたちが主体的に、自分の感覚や発見に導かれ、周囲の人たちとふれあいながら、「星と森と絵本の家」の時間を過ごすということを大切にしたいと思います。ゆったりとしたこの空間で、人や自然や自分と向き合う時間の中で、人を思いやる心や科学する心の土台が育つことを願っています。

